

赤十字おおきま

NO. **04**

Okayama Chapter



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

赤十字活動資金の使いみち

救



赤十字活動資金の使いみち

日本赤十字社の人道的活動は、皆さまからの「赤十字活動資金」により支えられています。「赤十字活動資金」には、「会員」や「協力会員」の皆さまより毎年お寄せいただくものと、「寄付金」として一時的にお寄せいただくものがあります。

※日本赤十字社では、「会費」として年額2,000円以上をお納めいただく方を「会員」、目安として年額500円以上お納めいただく方を「協力会員」と呼びしています。

日本赤十字社では病院や血液センター、老人保健施設などの運営も行っていますが、これらは「特別会計」により管理されています。「赤十字活動資金」を主な財源とする「一般会計」では、以下のような活動を行っています。

皆さまよりお寄せいただいた「赤十字活動資金」は、「苦しんでいる人を救いたい」という私たちの思いを乗せ、さまざまな活動に姿を変えて役立てられています。



国内救護活動

救護活動における医薬品や資器材 救護員の養成などに

日本赤十字社では1888年(明治21年)の磐梯山の噴火の際、初の自然災害における救護活動を行いました。以降も関東大震災や日航機墜落事故、阪神・淡路大震災や東日本大震災など、ほぼ全ての自然災害等において救護活動を行っています。



国際活動

海外での救援や開発協力などに

赤十字の国際的なネットワークは、191の国と地域に広がっています。各国赤十字社からの要請により、自然災害に対して救援活動を行ったり、難民や避難民へ支援を行います。東日本大震災では、日本も国際救援を受けました。



赤十字ボランティア

地域のボランティア活動の支援などに

赤十字の活動は、各地域に結成された「地域赤十字奉仕団」や、学生や社会人により組織された「青年赤十字奉仕団」、アマチュア無線や救護などの特殊な技能を持った人たちにより組織された「特殊赤十字奉仕団」により支えられ、全国で約126万人のボランティアが登録されています。



青少年赤十字

防災教育などの 子どもたちの育成のために

青少年赤十字は、将来を担う青少年が赤十字を正しく理解し、進んで赤十字運動に参加することを通じて、世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、日常生活の中で、望ましい人格と精神を自ら作り上げることを目的としています。



救急法などの普及

いのちや健康を守る講習の普及や 救急員などの養成に

心肺蘇生やAEDの使い方、事故防止や急病の手当などを学ぶ救急法や、健やかに高齢期を過ごすための知識や、高齢者の自立をめざした介護の方法を学ぶ健康生活支援講習などの講習を実施しています。一人でも多くの方がこれらの知識や技術を身につけることにより「いのちや健康」を守ります。

Column

日本赤十字社(博愛社[※])への 寄付第1号は?

1877年(明治10年)6月、現在の東京都江東区に住んでいた笠原半さんが西南戦争での救護活動のために、白ごま1樽(代価は12円10銭)を寄付したのが日本赤十字社(博愛社[※])への寄付第1号と言われています。

当時、白ごまは大変貴重で西南戦争の救護活動に従事した医師の1ヶ月分の給与に相当する額だったようです。

※博愛社…日本赤十字社の前身



皆さまからのご支援ありがとうございます

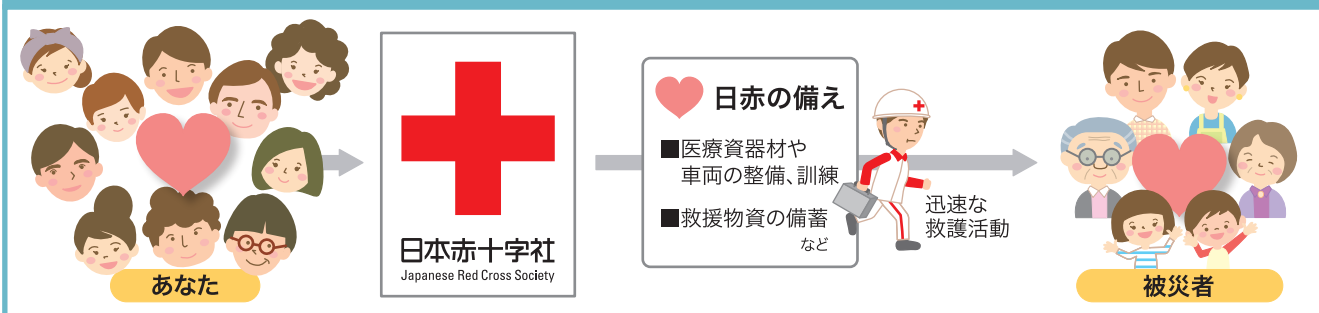
日本赤十字社は「平成30年7月豪雨災害」の発生直後から救護員を派遣し医療救護やこころのケアなど、被災者に寄り添う活動を行っています。被災地で「ありがとう」の声を直接いただくこともあります。このお言葉は、日頃より日赤の活動を支援くださっている皆さまへの感謝のお言葉です。今後も活動を通じて、皆さまの温かいお気持ちを被災地に届けてまいります。

被災者に届ける2つの支援

あなたの気持ちが、誰かを支える大きな支援につながります。

活動資金

日本赤十字社の活動を支援

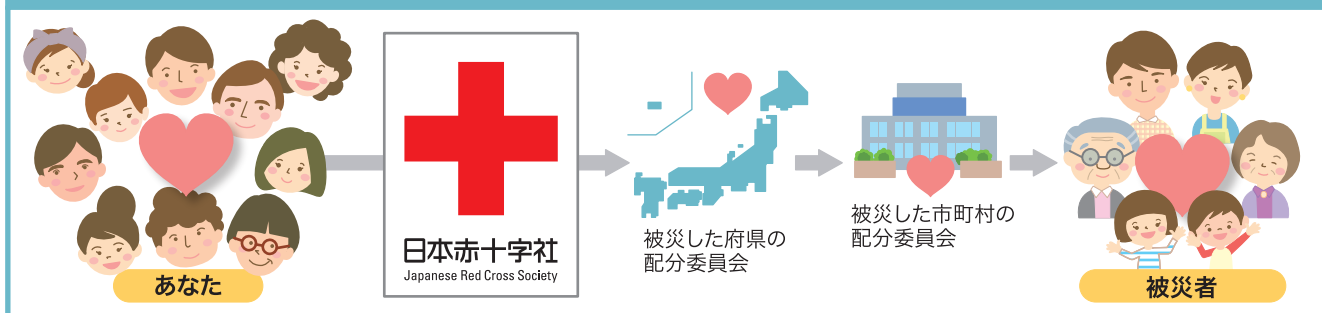


※ そのほか、炊き出しなどボランティア活動の支援、青少年への防災教育、救急法や幼児安全法の講習、途上国への開発支援などに使用されます

義援金

全額を被災者にお届けします

被災者を支援



「平成30年7月豪雨災害義援金」 受付および送金状況のご報告

■受付額

109億7,876万2,219円

(平成31年1月31日現在) ※日赤本社受付分を含む。

■「平成30年7月豪雨岡山県災害義援金」配分委員会への送金額

第1回目 3億2,501万1,601円 (平成30年7月27日送金)
 第2回目 11億2,684万7,704円 (平成30年8月1日送金)
 第3回目 37億5,200万8,102円 (平成30年8月28日送金)
 第4回目 23億9,369万5,127円 (平成30年9月28日送金)

第5回目 18億9,833万1,087円 (平成30年10月31日送金)
 第6回目 8億149万5,463円 (平成30年11月30日送金)
 第7回目 4億5,173万835円 (平成31年1月10日送金)
 第8回目 2億2,964万2,300円 (平成31年2月15日送金)

計109億7,876万2,219円